

## もくてき

障害のある子ども・おとな、なんらかの生きにくさのある子ども・おとな、そうした人々が自分を大切に感じ、創造的な文化や芸術を楽しみ、社会とつながることができるための活動をします。一般社会に対しても、障害のある子ども・おとなによる文化や芸術の楽しさ、価値や意義を知ってもらうことに努めます。

文化や芸術は、障害のある子ども・おとなの福祉や教育のためだけでなく、多様性と活力に満ちた地域共生社会の実現、新しい時代のビジネスの振興にも貢献できる可能性があります。そうした理念を共有して深め、あらゆる分野に広げていくことをめざします。

## わたしたち

千葉アール・ブリュットセンター「うみのもり」の運営スタッフをご紹介します。



**こまちだ たまお** センター長 芸術文化相談員

絵を描く人。美術を通じての共育活動人。  
生まれも育ちも上総一宮。(株)いろだま代表  
東京藝術大学美術学部修士課程油画専攻 修了。  
アートでボーダーレスな時間と場を生み出す野望を持ち続ける。



**オクダ サトシ** 舞台芸術分野相談員

踊るように見えない人。映像を作ったり絵を描いたり旅行する人。  
飛騨生まれ美濃育ち。東京藝術大学美術学部絵画科油画  
修士課程技法材料研究室修了。ダンスカンパニーコンドルズの  
メンバーで、出演の他、映像制作も担当している。



**森田 哲朗** 福祉分野相談員

繋げる人。関わりを持つ皆さんを笑顔で包み込み、  
元気にしていく人。千葉県で生まれ育ち、体育教師を目指し、  
教育課程の介護実習で障害者支援に出会い、楽しさから就職。  
社会福祉法人フラットでは成人の通所施設で勤務中。



**野澤 和弘** 特別顧問【アールブリュット分野】

文を書く人。夢や福祉のことをしゃべる人。  
海と温泉のまちに生まれる。  
東京大学の「障害者のリアルに迫るゼミ」、  
上智大学の新聞学科、植草学園大学でも教える。



**竹嶋 信洋** アドバイザー

福祉現場で働く人。自分の町が大好きな人。福祉現場で18年。  
辿り着いた答えは、みんなが笑って暮らせる町は、結果として  
障害のある人も笑って暮らせるということ。人間の内なる  
エネルギーの表現に魅せられて、芸術文化に心奪われている。

## 「うみのもり」のゆらい

海のなかにも森があります。海藻でできた森です。  
「藻場」と呼ばれるその森は、  
時には隠れ家として、時には遊び場として、また時には  
産卵の場所として、魚、ウミガメ、エビやカニなどの  
多種多様な生きものを養い、  
かつ海そのものの水質をも浄化する、  
生態系の中で非常に重要な場所です。  
今回、お話を頂いた時、  
私の頭に浮かんだのはそんな「藻場」のイメージでした。  
ここがあなたの、「うみのもり」でありますように。

詩人 大島健夫

## 【千葉県障害者芸術文化活動支援センター】



千葉アール・ブリュットセンター

# うみのもり

多種多様な生きものを養い、かつ  
海そのものの水質をも浄化する藻場。

『うみのもり』は  
そんな藻場のような場所でありたいと  
考えております

### 千葉アール・ブリュットセンター「うみのもり」

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮2553-8

株式会社いろだま内

TEL・FAX:0475-36-7411

<https://uminomori.net/>

[info@uminomori.net](mailto:info@uminomori.net)

ちば  
SDGs  
パートナー  
638号



チーバくん ちばSDGs

## なりたち

人生は出会いとタイミングだと思います。  
限られた人生という時間の中で無数の人との出会いがあり、  
そのほとんどが何ごともなく別れては忘れていきます。  
しかし、何かしらのはずみで心の中にある風鈴が揺れて  
かすかな音を立てることがあります。

障害者文化芸術活動推進法が  
国会で成立したのは2018年6月です。  
それを受けて都道府県が障害者文化芸術を進めていくための  
計画や支援センターを設置していくことになりました。

日本の障害者福祉は2006年に障害者自立支援法が  
施行されてから、この13年で3倍以上にも予算は増えました。  
まだ不十分とはいえ、福祉サービスは以前とは比べられないほど  
充実してきたと言えます。権利擁護の面でも虐待防止法や  
差別解消法の施行などもあって少しずつ整備されてきました。  
ただ、福祉サービスがあって権利が守られていればいいという  
ことではありません。社会に何らかの形で関わり、働くことで  
役割を得たり、家族や恋人との生活で充足感を得たりするのです。  
趣味や芸術を楽しみ、創作活動の中に新しい自分を発見することも  
重要なものの一つです。

社会の価値観も大きく変わろうとしています。  
物質的な豊かさよりも、心の充足や安心を求める人が  
多くなってきました。そうした時代の転換期に、  
千葉県での障害者文化芸術を深め、  
盛り上げていく母体を作ろうということになりました。  
それが、「うみのもり」です。  
あの日、心の中で鳴った風鈴の音に導かれるようにして、  
わたしたちはここにいます。(文・野澤和弘)



令和4年度うみのもり玉手箱2 東総文化会館会場風景(会場撮影 竹村浩輝)

## アール・ブリュットとは

アール・ブリュット(Art Brut)とはフランス語で「生(き)の芸術」という意味です。既存の美術教育の手あかが付いていない芸術作品を指します。フランスの画家ジャン・デュビュッフェ(Jean Dubuffet 1901-1985)が発案した言葉とされています。「加工されていない芸術」「伝統や流行などに左右されず、作者自身の内側から湧き上がる衝動のままに表現した芸術」など、さまざまな言葉で定義されています。

千葉アール・ブリュットセンターでは、アール・ブリュットに関する記事・作品・展示会情報などを随時公開していきます。

## サポート内容

### 人材育成講座の開催

障害のある人たちによる創作活動・表現活動を支援している方やこれから施設・事業所で創作活動を始めてみたいと考えている方、障害者の創作・表現活動に興味のある方を対象に人材育成を目的とした講習会を開催いたします。ワークショップ、講話、研修を通し、障害のある人の創作活動・表現行為に関する理解を深め、障害のある人の芸術文化について学びます。講座の情報はWEB、SNSで随時告知しています。

### 相談受付

一般的な質問から、専門的な質問「障害、アールブリュット、絵画、舞台」等、アールブリュットに関する多様な質問に対応致します。



相談受付フォーム

### 発表の機会の創出

千葉県内の作者により生み出された作品が、多くの方の目に触れるような、発表の機会を設けます。うみのもり展覧会の作品公募、発表の機会の情報はWEB、SNSで随時告知しています。

### ネットワークの構築

千葉県内の「活動先」と「活動している人」をつなぐネットワークや、県内の芸術に取り組んでいる事業所・広域センターとも連携します。



ネットワーク構築

### 情報収集、発信

全国の福祉や美術・舞台芸術団体の情報を届け、県内の障害当事者の芸術文化活動への参画や、活動内容の充実を図ります。メーリングリストを作成し情報共有などもしています。

令和4年度うみのもりの玉手箱2 千葉市民ギャラリーいなげ会場風景(会場撮影 竹村浩輝)



## 千葉アール・ブリュットセンター「うみのもり」

いつでもお気軽にお問い合わせください。



uminomori.net



E-mail



公募作品発表ページ



instagram



Twitter



Facebook

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮2553-8  
株式会社いろだま内 TEL・FAX:0475-36-7411

### 厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業 千葉県障害者芸術文化活動支援センターについて

千葉県では、障害のある人の芸術文化活動の振興を図るとともに、自立と社会参加を促進する事を目的として、千葉県障害者芸術文化活動支援センターを設置しています。